

平成24年度公募要領の主な変更のポイント

独立行政法人科学技術振興機構
国際科学技術部 地球規模課題国際協力室

1. 研究分野・領域等について

- ・研究分野・領域が複数にまたがる提案課題（境界領域の課題）については、提案時に複数分野にまたがる境界領域としての応募である旨、指定頂くこととします。
- ・共同研究を通じて東日本大震災からの復興・再生にも貢献すると考えられる課題の提案を奨励します。その際どのように貢献が可能であるかなどその関連性について提案書に記載いただきます。

2. 選考の観点等について

- ・グローバル化に対応した若手研究人材の育成の重要性に鑑み、「研究代表者が45歳未満の若手研究者」又は「日本側研究チームの半数以上が35歳以下の若手研究者」を中心とした体制で構成される課題の積極的な提案を奨励すること、また、これらの基準に沿って研究体制の構築を図っている課題については、相対的に高く評価する場合がある旨を記載しました。
- ・選考の観点に、相手国にニーズがあることに加え、日本の相手国に対するODAの方針にも合致していること、を追記しました。
- ・研究実施期間中に定年退職や他の理由で任期の終了を迎えることが想定される研究代表者については、応募時に所属研究機関長からの承諾書に当該研究代表者に対し身分保証する旨を含めていただくこととし、より確実な研究の遂行を求めました。

3. SNS【Friends of SATREPS】への登録等について

- ・本年6月から運用を開始した本プログラムのSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）『Friends of SATREPS』への会員登録（研究代表者及び研究チーム参加予定者）、提案課題に関するオンラインコミュニティの作成をお願いします。

<https://fos.jst.go.jp/>

4. 成果目標シートの作成について

- ・成果目標を明確にした提案にさせていただくため、JSTの課題評価のツールである『成果目標シート』の作成を提案書様式2内で求めます。作成についての詳しい説明、雛形については、以下のページにアクセス下さい。

<http://www.jst.go.jp/global/koubo.html>

5. その他

- ・相手国以外の第三国に所在する研究機関、またはそこに所属する研究者を国内の研究チームに加えることや、第三国に所在する研究機関との共同研究は対象外である旨を記載しました。

以上